

# 鈴木国蔵系列のこけし

湯沢市 沼倉孝彦

こけし収集においては、工人の初期から最新作までの変化を比較することも楽しみの一つに上げられる。師弟・親子同士の形態や描彩の相違も興味深い。三年前の高橋兵治郎一家に続き、今回取り上げたのは旧湯沢市で戦前から継承されている鈴木国蔵系列のこけしである。特に、収集の中心でもある幸太郎のこけしは、60余本中初作から最晩年まで37本を選別展示した。伝統こけしならではの年代変化を鑑賞していただければと思っている。

この「湯沢こけし」は皆瀬木地山、川連大館のこけし群とは本来発生を異にする系統である。戦後のこけしブームの折に木地山系の影響を強く受けたこともあって、現在は木地山系に分類されているが、「湯沢こけし」の始祖である鈴木国蔵がこけしを修得したのは正末昭初、山形県最上郡真室川町及位の佐藤文六(遠刈田系)の工場で職人として働いていた時代である。轆轤も国蔵から井川武松、横堀の中川一家に至るまで、代々皆瀬木地山とは異なる縦挽き(向い挽き)である。参考品として弥治郎系の佐藤伝(1906-1980)・佐藤伝喜(1909-1985)兄弟のこけしを掲げたが、鈴木幸太郎の初期と佐藤兄弟のこけしは極めて類似しており、当初幸太郎がこれらを参考にしたことは間違いないだろう。また、幸太郎のこけしが国蔵作とされている場合も多々ある。これらの経緯が収集・研究家にとりほど理解されているかは判らないが、当時の「湯沢こけし」を雑系と分類する研究家がいるのも確かである。

何れ、工人自ら系統を名乗るようになったのは大方戦後のことで、戦前の木地職人はこけしでもお椀でも、生活のために売れるものを売れる場所で挽いたに過ぎないのであり、系統など意識していなかったのである。

現在の「湯沢こけし」継承者は中川徳二郎・郁夫親子のみである。平成20年に初作を発表した郁夫工人が国蔵型や幸太郎型から入ったことはごく自然であり、「湯沢こけし」ファンとしても大いに期待するところである。

今回の展示で「湯沢こけし」が秋田県内でも特異な位置にあり、貴重な系列であることをご理解いただければ何よりである。

## 特別展目録

(都合により展示品の一部が変更になる場合もあります)

No	工人名	製作年	高さ	備考	No	工人名	製作年	高さ	備考
1	鈴木 国蔵	不明	9寸4分		33	鈴木幸太郎	昭和48年	1尺2寸	
2	(1897-1957)	昭和15年1月	9寸5分		34	"	昭和49年7月	1尺	
3	"	昭和15年6月	1尺2寸		35	"	昭和49年11月	7寸	
4	鈴木幸太郎	昭和15年	6寸		36	"	昭和50年	7寸	
5	(1922-1988)	昭和17年1月	9寸7分		37	"	昭和50年8月	1尺	
6	"	昭和17年	6寸5分		38	"	昭和51年4月	1尺	
7	"	昭和17年ころ	3寸		39	"	昭和55年ころ	1尺	
8	"	昭和23年ころ	5寸8分		40	"	昭和55年ころ	1尺	
9	"	"	5寸2分		41	鈴木さと子	不明	1尺5寸	本人型
10	"	昭和25年ころ	7寸8分		42	(1927-2007)	昭和50年ころ	1尺	"
11	"	"	8寸		43	井川 武松	昭和31年ころ	6寸	武内武松名義
12	"	昭和27年	4寸8分	井川武松描彩	44	(1925-2008)	昭和45年	7寸	
13	"	昭和31年2月	5寸7分		45	"	昭和48年	8寸	松江謙太郎型
14	"	昭和31年12月	8寸		46	"	昭和49年	1尺	"
15	"	昭和31年ころ	7寸8分		47	"	昭和54年5月	1尺	鈴木国蔵型
16	"	"	3寸		48	"	昭和55年	1尺	"
17	"	昭和32年ころ	4寸6分		49	"	昭和56年2月	6寸	"
18	"	昭和33年ころ	4寸8分		50	"	平成12年1月	8寸	"
19	"	昭和34年	1尺3寸		51	"	平成12年8月	8寸	松江謙太郎型
20	"	"	9寸8分		52	"	平成13年	1尺	鈴木国蔵型
21	"	昭和36年ころ	7寸8分		53	中川徳二郎	昭和56年2月	6寸	本人型
22	"	昭和38年	7寸		54	"	不明	8寸	鈴木国蔵型
23	"	昭和39年	4寸8分		55	"	平成12年6月	1尺	"
24	"	昭和40年4月	7寸		56	"	平成14年2月	1尺	鈴木幸太郎型
25	"	昭和42年ころ	8寸		57	中川 郁夫	平成19年1月	7寸8分	習作
26	"	昭和45年5月	1尺4分		58	"	平成20年5月	5寸7分	初作
27	"	昭和45年9月	7寸		59	"	"	5寸8分	"
28	"	"	1尺6分	鈴木国蔵型	60	"	平成21年2月	5寸2分	
29	"	昭和45年	8寸		61	"	平成22年2月	7寸	
30	"	昭和45年10月	1尺1寸		62	井川 武松	不明	3寸	ダルマ
31	"	昭和46年ころ	7寸		63	佐藤 伝	参考品	9寸	弥治郎系
32	"	昭和47年9月	5寸		64	佐藤 伝喜	"	5寸8分	"

※井川武松の松江謙太郎型(45,46,51)は国蔵型と記されている。